



2021年8月 第十一号

発行元：信州子育てみらいネット 広報係

『子育てポケットWEB』が6月にリリースされました！

◆山岸代表理事インタビュー

●子育てポケットWEBとは

「数時間ごとに泣き出す赤ちゃんに夫婦とも体力の限界…」
「イヤイヤ期で言うことを全く聞いてくれないので困った…」
睡眠不足になり、友人とは会えなくなり、家事の量が3倍になり、パートナーと会話するエネルギーさえ残らない。
子どもを授かるという素晴らしい経験が、よもやこれほど大変な日々をもたらすとは・・・」

かわい我が子の前で口には出せませんが、誰しも一度は考えたことがあるのではないのでしょうか？
親は誰もが「子どもにとって最高の子育てをしたい」と思っています。しかし、それがうまくいかない理由の一つは「子育ての正解が分からない」ことではないでしょうか。
私達は普段から、「子育てしやすい社会」に繋がることを考え、一つ一つ実現してきました。

・未満児保育 ・病児保育、病後児保育
・夜間保育 ・一時預かり など
少しずつ利用して頂く方が増えています。

今回新たな取り組みとして、「子育ての一つの正解」を知っていただくため、子育てにもっと前向きになれるような「子育て情報を発信する」ことを始めました。
「イヤイヤ期など」今のこの状態がいつまで続くか分からない、どう対応したら良いか分からない」という、お困りごとを解決することで、子育てにもっと前向きになれるのではないかと考えています。



▲『子育てポケットWEB』トップページ
<https://pocket.chiikihoiku.net/>

記事をつくる上で、保護者の皆さまの身近な保育園の担任などが回答することによって、ずっと内容を頭に入っていくことを心がけています。

●掲載内容

一昨年の6月からケーブルテレビ番組「子育てポケット」を放送しています。各回「専門家の話を聞く」「地域のお店の紹介」という2つのコーナーで構成されています。
(Hd: <https://chiikihoiku.net/pocket/>)

WEBの子育てポケットでは、まずケーブルテレビ番組でインタビューした内容を掲載しました。

現在は職員にインタビューをして少しずつ記事を増やしています。

・高田の副主任保育士に「子どもの昼寝は何歳まで？保育士が教えるを寝かしつけ2つのコツと6つの方法」「保育園で教えている子どもに片付けてもらう7つの方法」
・小布施の副主任保育士に「2歳児の、嘔みつき、どうしたらいいの？関わりポイントコレ！」「子育ての悩みは相談と共感で解決！3歳児育児の、お悩み、にお答えします！」
・高田の管理栄養士に「1歳の子どもがご飯を食べない3つの理由と4つの対策【栄養士おすすめレシピあり】」
「保育園の栄養士に聞いた子ども好き嫌いを克服する4つの方法」

を今までアップしています。(7月末インタビュー時点)

●制作にかける思い

今後は「文字で子育てのお悩みを解決」するための記事に加え、「罪悪感をなく子どもに見せられる」または「子どもと一緒に見られる」動画の制作を進めています。

- 具体的には、
・保育士が行う「手遊び・ペープサート」
・栄養士が行う「食育」
・看護師が行う「薬の飲ませ方、嘔吐処理」など

その他にも動物園に取材に行き、動物の紹介をしたり実際に親子で行ったようなコメントを添えて編集していくなどを考えています。

子どもも親も学ぶことができる動画にすることで、「子どもに見せても良いのでは」と感じていただければ幸いです。

また、記事で紹介した内容をマンガとしてリメイクしたいとも考えています。より保護者の皆さまが理解しやすく記憶に残るコンテンツづくりをしていきます。

第5回 保育共有プロジェクト 開催

今年度最初の保育共有プロジェクト会議が開催され、参加者が感じている課題や、解決のための意見交換を行いました。また今年度新たに開催する『年齢別保育共有プロジェクト』について、開催の趣旨や方法を話し合いました。

年齢別保育共有プロジェクト 開催

今年度からの新たな取り組みとして、『年齢別保育共有プロジェクト』を開催していきます。0歳児・1歳児の第1回目は7月に開催され、各学年の担任が一つの園に集まり、午前は保育の様子の見学、午後は話し合いの時間として情報共有や意見交換を行いました。

◆0歳児クラス 開催場所：中野みらいく保育園

●見学クラス担任の先生にインタビュー

保育では特別なことはせず、普段通りの様子を見学していただきました。各園の環境の違いなど、実際に見てみたいとわからないこともあるので、この機会に見ていただけてよかったです。

午後の話し合いでは、和やかな雰囲気の中で、経験ある先生や若い先生が話し合えたり、今悩んでいることを相談できたり、多岐に渡る内容を話し合えたのでとてもよかったです。他園同士中々会える機会がないので、今回のように直接顔を合わせてお話しができる機会が増えたらいいなと思います。

【参加者の声】

◎それぞれの園の特徴(立地や環境)がありますが、他の園の良さや工夫など、参考になることがたくさんありました。同じ年齢を担当する先生方と悩みや情報を共有することで、精神的にも支えられたり、良い刺激を受けることができ、とても貴重な時間を過ごさせていただきました！

◎0歳児さんならではの保育の悩み、例えば月齢差・発達差の大きい0歳児のお部屋での過ごし方の工夫、0歳児の製作についてのそれぞれの考え、工夫や進め方など細かいことまで話し合いができ、大変有意義な時間でした。是非今後の保育に活かしていきたいと思えます。



◆1歳児クラス 開催場所：みらいく高田

●見学クラス担任の先生にインタビュー

自分のクラスを見学していただくということで、事前に一日の流れを決め、予定表を作成し参加者に配布するなど準備を進めました。当日は、お越しいただいた先生方にも、見学というよりは一緒に保育をしていただきました。始まる前は子ども達が落ち着かなくなるかなと心配していましたが、人見知りをすることなく普段通りの様子で安心しました。

同じ学年の担任同士、やっていることや悩みなどを話すことができ、有意義な時間を過ごせました。今回は一日がかりの開催でしたが、例えば午睡時間のみと時間を絞るなどして、相談会の機会が増えたらいいなと思います。

【参加者の声】

◎同じ1歳児さんの担任の先生が集まり、日頃の保育の悩みを相談することができました。自分の考えでは思いつかないような発想やアドバイスをしていただき、今後の保育に活かしていきたいと思いました。また、他の先生方の保育の仕方を見ることができ、自分の学びに繋げることができました。

◎今度他園の保育の様子を見る機会がなかったので、環境設定や活動の切り替え、声掛けなど勉強になることがたくさんありました。午後の話し合いでは、同じ年齢ならではの悩みを共有できました。保育の悩みは尽きませんが、こうして向かい合って共有する機会があることはとても心強く感じました。

法人方針説明&意見交換会

6月15日、山岸代表理事による

WEB法人説明&意見交換会を開催しました。今年度最初の開催となった今回は、冒頭に本会の開催趣旨について説明があり、「今まで振り返り」と「今後のみらいく」について説明がありました。「保育園として」「法人として」のそれぞれの将来に向けた取り組みについて、また質疑応答では「職員レクリエーション」「役職に見合った指示の仕方」「課題本『Think CIVILITY』」などの質問・回答がありました。

▲『法人説明会&意見交換会』スライドショーより抜粋



◎この会を通してのごと(仕事)の本質を見つける＝幸せに働ける
◎それぞれの考えを「理解」して正解を見つけましょう！

行事紹介 *七夕の会*

行事計画担当の先生にインタビューしました。



中野みらいく保育園

最初に、給食の先生にフルーツポンチづくりに使ったスイカとバナナを目の前で切ってもらいました。普段見ることのない様子を見ることができて、子どもたちの目が輝き、拍手が起きました。

その後、子ども達が製作した笹飾りと短冊を紹介しました。笹は中野園の駐車場に生えている本物の笹なので、子ども達にも馴染みがあり喜んでいました。製作の時も飾るのを楽しみに作っていました。

パネルシアターの七夕のお話は「未満児さんには少し難しいかな？」と心配していましたが、予想外に興味津々でびっくり！0歳児さんもお食い入るように見ていて驚きました。織姫様と彦星様が離れ離れになるのでは、悲しい顔をして見ていた2歳児さんの姿が印象的でした。

最後に1・2歳児さんでフルーツポンチ作りの食育を行いました。さっき目の前で切ってもらった果物を自分達でボウルに入れて、ポンチ液とゼリーを入れてできあがり！2歳児さんは自分で盛り付けをして給食の時間に美味しくいただきました！

みらいく早苗町

ペーパースーツ、短冊紹介、七夕の歌など、子ども達とても楽しみに参加してくれました。会の進行には鈴を付けた製作の織姫様と彦星様を使い、鈴の音で子ども達の視線が向いてくれました。

ペーパースーツ「ころりん・ピッカリ・スットントン」は子ども達が乗りやすい歌やリズムが出てくる内容で、一緒に歌おうとしてくれる2歳児さん、体を揺らして聴く0・1歳児さんの姿を見て、子ども達に合ったものを選べたと思います。

短冊紹介は昨年よりも喜んでくれたので、今年も一人ずつ紹介しました。自分の短冊を紹介された時のうれしさや表情や誇らしげな表情がとても可愛かったです。七夕の歌はたくさん練習したので、みんな大きな声で歌ってくれました。

子ども達がシアター中の問いかけに答えてくれたり、喜んで歌を歌ってくれたり、一緒に会を進めることができました。昨年担当した際の反省を生かしたことで、全クラスが楽しく参加できる会になったことがとても嬉しかったです。



みらいく小布施

七夕のお話のスケッチブックシアターは、未満児さんでも分かりやすい内容になるように工夫しました。子ども達はすっと落ちていた様子を見てくれて、ページが変わるごとに「おー」と言っていたり、指をさしたりする姿が見られました。その後、各クラスで製作した笹飾りの紹介をしました。

「みんなの願い事はなんだろう？」と問いかけると、2歳児さんは「新幹線」「車」など、自分の欲しいものを答えてくれました。

そして七夕の歌を歌い、手作りの天の川の川を通過して楽しみました。子ども達が楽しんで、少し揺らすなど川らしく演出する工夫をしました。少し怖かった子の姿もありましたが、先生と手を繋いで通ったり、お友達と一緒に通ったりと嬉しそうな表情をしていました。

子ども達への問いかけをもう少し増やすことでより楽しめたかな等、色々な気づきがあったので、今後に活かしていきたいです。

夜の保育園みらいく



七夕祭りのおはじまりでは大好きな「かえるの合唱」と七夕祭りを歌い、製作のため3階ホールへ移動しました。以上児さんはサルやタワシを使って、スハッティングを、未満児さんは手や足で自由に天の河や銀河を描きました。その後、お星様いっぱい七夕献立を食べ、お星様探しを行いました。3階ホールをブラクライトで照らすと、絵の具が光って銀河の中に見えるように描いてみました。子ども達の共同作品の出来栄が素晴らしいです。夜ならではの行事を楽しんできたと思います。

最初に七夕について、はんだ組で作った織姫と彦星を見ながらお話をしました。そして子ども達に笹の前に出てもらい、各クラスで作った作品を飾って見ました。発表の後、七夕の歌を歌い、「今日の夜、空を見よう」との川が見られるかもしれないね」とお話をしました。

高田園は子ども人数が多いので、発表の途中で飽きてしまう子が多いかな...と予想されましたが、0・1歳児さん、みんながお友達の作品に興味を持って、とてもよく見ていたので驚きました。7月に入って「たなぼたさま」の歌を何度も歌う中で、子ども達も難しい歌詞を覚えて、楽しんで歌ってくれました。

次の日に2歳児さんの保護者の方から「寝る前に空を見て「雲さんが邪魔して天の川見えないね。雲さんどいてよって言うね」と言っているよ。」なんてエピソードをもらい、スナッキー感性で受け取ってくれていたんだな...と感動しました！

みらいく高田



朝のおはじまりの会からご参観いただき、活動では七夕のパネルシアターと天の川の親子製作を行いました。

夜空に見立てた青いポリ袋をベースに、丸や星の形のシールを親子で好きなように貼っていくという製作です。シールを繋げて川の流れる表現したり、自分で考えた形を作ったり、子ども達の発想が広がって、いくつかが面白かったです。完成した天の川を天井に飾った際は、保護者の方が拍手をしてくださいました。

保護者の方が積極的に参加していただき、親子と一緒に楽しめる機会になって良かったです。



みらいく県町



みらいく保育園



七夕の会の1週間前程に子ども達と一緒に短冊を飾り、七夕の歌を歌うというのをしました。七夕の会当日は、織姫様と彦星様の絵を見せながら子ども達にわかるようにお話をし、七夕の製作を行いました。

織姫様と彦星様の台紙に千代紙をちぎって着物に貼る製作で、子ども達は張り切った様子で取り組んでいました。2歳児さんは手先が器用なので、細長く切った自分の好きな形・模様になるように作っていました。0・1歳児さんは先生と一緒に楽しんで取り組んでいました。完成したものを「できたよ！」と嬉しそうに見せてくれました。

会を通して七夕という行事を子ども達なりに楽しんでくれたかなと思います。今回は七夕にちなんだ製作を行いました。他にもペーパースーツやシアター、願いごとの発表をするのも良かったかなと思います。伝統文化や日本の行事に子ども達に触れたいけるように、今後も色々な活動で工夫していきたいです。

最初にペーパースーツで七夕のお話をしました。子ども達は集中してよく見てくれました。お話の後、製作コーナーへ移動する途中、ビニールテープで作った天の川のカーテンをくくりました。「わぁ！すごい」という声やお星さまを見て喜ぶ姿がありました。

織姫様と彦星様の製作では、顔はシール貼り、着物はビニールテープで色付けをしました。ケースの中に着物の台紙を入れ、絵の具を付けたビニールテープをコロコロと転がして模様をつけました。2歳児さんは先生の説明を見て自分ですべてできていて、1歳児さんは自分でやったり先生と一緒にやったり、0歳児さんは先生がやっているのを見て楽しんでいました。最後に完成した製作を壁に貼り、七夕の歌を歌いました。

全学年がそれぞれの楽しみ方をしていて、自分の気持ちにもなりました。会が終わってから「コロコロやったね」と言ってくれる姿があり、子ども達にも印象に残る活動になったかなと思います。これからも色々な経験をたくさんさせてあげたいです。

行事紹介 *七夕の会*

行事計画担当の先生にインタビューしました。



中野みらいく保育園

最初に、給食の先生にフルーツポンチづくりに使ったスイカとバナナを目の前で切ってもらいました。普段見ることのない様子を見ることができて、子どもたちの目が輝き、拍手が起きました。

その後、子ども達が製作した笹飾りと短冊を紹介しました。笹は中野園の駐車場に生えている本物の笹なので、子ども達にも馴染みがあり喜んでいました。製作の時も飾るのを楽しみに作っていました。

パネルシアターの七夕のお話は「未満児さんには少し難しいかな？」と心配していましたが、予想外に興味津々でびっくり！0歳児さんもお食い入るように見ていて驚きました。織姫様と彦星様が離れ離れになるのでは、悲しい顔をして見ていた2歳児さんの姿が印象的でした。

最後に1・2歳児さんでフルーツポンチ作りの食育を行いました。さっき目の前で切ってもらった果物を自分達でボウルに入れて、ポンチ液とゼリーを入れてできあがり！2歳児さんは自分で盛り付けをして給食の時間に美味しくいただきました！

みらいく早苗町

ペーパースーツ、短冊紹介、七夕の歌など、子ども達とても楽しみに参加してくれました。会の進行には鈴を付けた製作の織姫様と彦星様を使い、鈴の音で子ども達の視線が向いてくれました。

ペーパースーツ「ころりん・ピッカリ・スットントン」は子ども達が乗りやすい歌やリズムが出てくる内容で、一緒に歌おうとしてくれる2歳児さん、体を揺らして聴く0・1歳児さんの姿を見て、子ども達に合ったものを選べたと思います。

短冊紹介は昨年よりも喜んでくれたので、今年も一人ずつ紹介しました。自分の短冊を紹介された時のうれしさや表情や誇らしげな表情がとても可愛かったです。七夕の歌はたくさん練習したので、みんな大きな声で歌ってくれました。

子ども達がシアター中の問いかけに答えてくれたり、喜んで歌を歌ってくれたり、一緒に会を進めることができました。昨年担当した際の反省を生かしたことで、全クラスが楽しく参加できる会になったことがとても嬉しかったです。



みらいく小布施

七夕のお話のスケッチブックシアターは、未満児さんでも分かりやすい内容になるように工夫しました。子ども達はすっと落ちていた様子を見てくれて、ページが変わるごとに「おー」と言っていたり、指をさしたりする姿が見られました。その後、各クラスで製作した笹飾りの紹介をしました。

「みんなの願い事はなんだろう？」と問いかけると、2歳児さんは「新幹線」「車」など、自分の欲しいものを答えてくれました。

そして七夕の歌を歌い、手作りの天の川の川を通過して楽しみました。子ども達が楽しんで、少し揺らすなど川らしく演出する工夫をしました。少し怖かった子の姿もありましたが、先生と手を繋いで通ったり、お友達と一緒に通ったりと嬉しそうな表情をしていました。

子ども達への問いかけをもう少し増やすことでより楽しめたかな等、色々な気づきがあったので、今後に活かしていきたいです。

夜の保育園みらいく



七夕祭りのおはじまりでは大好きな「かえるの合唱」と七夕祭りを歌い、製作のため3階ホールへ移動しました。以上児さんはサルやタワシを使って、スハッティングを、未満児さんは手や足で自由に天の河や銀河を描きました。その後、お星様いっぱい七夕献立を食べ、お星様探しを行いました。3階ホールをブラクライトで照らすと、絵の具が光って銀河の中に見えるように描いてみました。子ども達の共同作品の出来栄が素晴らしいです。夜ならではの行事を楽しんできたと思います。

最初に七夕について、はんだ組で作った織姫と彦星を見ながらお話をしました。そして子ども達に笹の前に出てもらい、各クラスで作った作品を飾って見ました。発表の後、七夕の歌を歌い、「今日の夜、空を見よう」との川が見られるかもしれないね」とお話をしました。

高田園は子ども人数が多いので、発表の途中で飽きてしまう子が多いかな...と予想されましたが、0・1歳児さん、みんながお友達の作品に興味を持って、とてもよく見ていたので驚きました。7月に入って「たなぼたさま」の歌を何度も歌う中で、子ども達も難しい歌詞を覚えて、楽しんで歌ってくれました。

次の日に2歳児さんの保護者の方から「寝る前に空を見て「雲さんが邪魔して天の川見えないね。雲さんどいてよって言うね」と言っているよ。」なんてエピソードをもらい、スナッキー感性で受け取ってくれていたんだな...と感動しました！

みらいく高田



朝のおはじまりの会からご参観いただき、活動では七夕のパネルシアターと天の川の親子製作を行いました。

夜空に見立てた青いポリ袋をベースに、丸や星の形のシールを親子で好きなように貼っていくという製作です。シールを繋げて川の流れる表現したり、自分で考えた形を作ったり、子ども達の発想が広がって、いくつかが面白かったです。完成した天の川を天井に飾った際は、保護者の方が拍手をしてくださいました。

保護者の方が積極的に参加していただき、親子と一緒に楽しめる機会になって良かったです。



みらいく県町



みらいく保育園



七夕の会の1週間前程に子ども達と一緒に短冊を飾り、七夕の歌を歌うというのをしました。七夕の会当日は、織姫様と彦星様の絵を見せながら子ども達にわかるようにお話をし、七夕の製作を行いました。

織姫様と彦星様の台紙に千代紙をちぎって着物に貼る製作で、子ども達は張り切った様子で取り組んでいました。2歳児さんは手先が器用なので、細長く切った自分の好きな形・模様になるように作っていました。0・1歳児さんは先生と一緒に楽しんで取り組んでいました。完成したものを「できたよ！」と嬉しそうに見せてくれました。

会を通して七夕という行事を子ども達なりに楽しんでくれたかなと思います。今回は七夕にちなんだ製作を行いました。他にもペーパースーツやシアター、願いごとの発表をするのも良かったかなと思います。伝統文化や日本の行事に子ども達に触れたいけるように、今後も色々な活動で工夫していきたいです。

最初にペーパースーツで七夕のお話をしました。子ども達は集中してよく見てくれました。お話の後、製作コーナーへ移動する途中、ビニールテープで作った天の川のカーテンをくくりました。「わぁ！すごい」という声やお星さまを見て喜ぶ姿がありました。

織姫様と彦星様の製作では、顔はシール貼り、着物はビニールテープで色付けをしました。ケースの中に着物の台紙を入れ、絵の具を付けたビニールテープをコロコロと転がして模様をつけました。2歳児さんは先生の説明を見て自分ですべてできていて、1歳児さんは自分でやったり先生と一緒にやったり、0歳児さんは先生がやっているのを見て楽しんでいました。最後に完成した製作を壁に貼り、七夕の歌を歌いました。

全学年がそれぞれの楽しみ方をしていて、自分の気持ちにもなりました。会が終わってから「コロコロやったね」と言ってくれる姿があり、子ども達にも印象に残る活動になったかなと思います。これからも色々な経験をたくさんさせてあげたいです。

保育／給食参観

みらいく高田 保育参観

☆各クラスの様子を担当の先生にインタビューしました。

●まず、「コミュニケーションのきっかけ、改めてお子さんのことをじっくり考える時間が持てるよと素敵だな...という気持ちも込めて、おはじまりの時に簡単な自己紹介と『お子さんの1番好きな所』を教えてくださいました。お子さんのかわいい姿をたくさん知ることができて嬉しかったです。保育者の自己紹介では、人となりを聞いていただき、より身近に感じてもらえたのではないかと思います。

活動では保護者さんと一緒に三重公園に出かけ、シャボン玉やボール遊びなど、いつも遊んでいる様子を見ていただいたり、一緒に遊びを楽しみました！

●いつもと違った雰囲気緊張気味の子や、お家の方と一緒に遊んでも嬉しそうに遊ぶ様子、様々な表情をみることができました。朝の会ではみんなが大好きな「かえるの合唱」をノリノリで歌ったり踊ったりと、とても可愛い姿を見て頂くことができ、とても嬉しかったです！

●松の木公園では、お家の方と一緒に楽しんで遊んだり甘えている可愛い一面を見ることができました。お散歩中にお家の方と園の様子やお家の方の様子を沢山お話することができ、私自身とても楽しい時間になりました。

●今年度初めての参観日、いつもと違う雰囲気とそわそわしていた子ども達。お名前呼びでは、どの子も元気よく返事してくれました！暑い中のお散歩でしたが、保護者さんと保育士と話をしながらゆくりと歩いていきました。保護者さんがいることで甘える姿が見られ、いつもと違う子ども達の姿に新鮮さを感じました。

●保護者さん同士の関わりも多く、相談し合う様子もみられ、参観日によって良かったなと感じました。子供達の成長をより感じていただくことができるように、秋にも参観日開催できたらいいと思います。



みらいく小布施 2歳児保育参観・親子クッキング・給食参観



●保育参観・担任の先生
朝のおはじまりの会からご参観いただき、活動では七夕のパネルシアターと天の川の親子製作を行いました。

●親子クッキング／給食参観・栄養士の先生
親子クッキングでは、保護者の方にお子さんの隣に座っていただき、ゼリーポンチを一緒に作っていただきました。材料はパイナップルと白桃、ミカンゼリーで、ゼリーを星型に抜いて果物と一緒に好きなように盛り付けるといものでした。

6月に寒天の食育で型抜きをしたこともあり、上手に型抜きをしていました。フルーツ盛りの子や、ゼリーしか入れていない子、それぞれ個性が溢れていました。完成したゼリーポンチは給食参観のデザートで食べました。保護者の方とお話する機会が普段は中々ないので、この機会にお話することができてよかったです。

●保育参観・担任の先生
朝のおはじまりの会からご参観いただき、七夕飾りの親子製作とボール遊びを行いました。保護者の方が一緒になので、普段より少し難しい製作にしましたが、親子で一緒に楽しみながら作ってくださったと思います。ボール遊びでは、子ども達から「ママ見て〜！」という楽しそうな声が上がりました。

●その活動も子ども達がよく参加してくれて、保護者の方の楽しそうな様子を見ることができました。次の日の連絡帳で「遊んでいる様子が見られてよかったです」と書いてくださったご家庭もあり、参観日できてよかったですと思います。

●給食参観・栄養士の先生
今回の給食参観は、食されるものを楽しんで食べる」というコンセプトで、主食・汁物・主菜・副菜の4品の献立を考えました。昨年の給食参観の様子を思いつき、しっかりとよく食べる子ども達の姿に成長を感じました。保護者の方もお子さんと一緒に食べることを楽しんでいる印象でした。

テーブルが3つに分かれており、1テーブル毎にまわって保護者の方とお話させていただきました。その中で、「保育園で色々なものを食べているので、おうちでも好き嫌いをしなくなりまし」とおっしゃってくださいたり、とても嬉しかったです。

夜の保育園みらいく 1歳のぼり運動会

計画担当の先生にインタビュー



6月5日、夜の保育園で『このぼり運動会』を開催しました。夜の保育園では初となる運動会、子ども達が今一番興味を持っていることを競技に取り入れられました。

最初に「このぼり」を歌い、「おしりフリフリ」「ミッキーマウス・マーチ」のリズム体操をして、「えい、えい、おー」のかけ声で準備万端！競技は障害物競争、このぼり釣り競争を行いました。

女の子達はプリンセスごっこがブームで、普段から毎回違うプリンセスになりきってストーリー遊びをしています。それを取り入れた障害物競争は、アナと雪の女王のテーマミュージックをかけ、スタート前から気分はプリンセスに。コウモリのトンネルをくぐり抜け、魔女のいるお山を乗り越え、同じく磁石がついた釣り竿で釣るといって競技でした。このぼりのお腹にはアンパンマンのお菓子が入っており、1歳児さんは特に喜んでいました。釣れたこのぼりとお菓子はおうちへのお土産にもなりました。

競技を終え「みんな頑張ったね」と先生から子ども達にメダルをプレゼントしました。記念撮影をとってから、運動会から、シートに座ってお弁当箱に詰めてもらった給食を食べました。その時間もプリンセスやアンパンマンのキャラクターに変身したまま過ごしました。

普段の遊びの中でかっこよさやお山を乗り越える練習をしており、リズム体操も楽しんでいました。保護者の方も楽しみにしてください。開催することができてよかったです。

●副主任の先生にインタビュー
中野市立図書館の司書さんが園にお越しください、3冊の絵本の読み聞かせをしてくださりました。集中して見入っている子、お話の受け答えをする子、それぞれの年齢らしい反応がありました。0歳児さんが最後までよく見ていた姿が特に印象に残っています。

●園の外部の方が読み聞かせをしてくださる体験は、子ども達にとって良い刺激や経験になったと思います。地域交流にもなり、貴重な機会を設けていただいていたことに感謝いたします。次回も楽しみです！

中野みらいく保育園 絵本読み聞かせ出前



園開放

6月・7月の園開放について計画担当の先生にインタビューしました。
※感染対策をしっかり行い開催しています。

みらいく県町

☆6月「リトミックで遊ぼう」



子ども1名に先生1名がつき、最初はピアノに合わせて、先生に抱っこされながら「さんぼ」の曲に合わせてリズム遊びをしました。低い音ですしりとした動き、高い音でくるくるとまわる動きや、色々なリズムにニコニコと喜んでいました。次の「大きなたいこ」はみんなで手で輪を作り、大きくなったり小さくなったりして遊びました。音の雰囲気を感じ取って上手にできていました。



他にも「おもちゃのチャチャチャ」で手作りマラカスを鳴らしたり、「バスに乗って」で触れ合い遊びを楽しみました。触れ合い遊びは普段の自由遊びでブームになっているので、先生の膝に座った瞬間からわくわくしている様子がありました。色々な内容を順番にやっただので、飽きることなく最後まで楽しんでくれました。小規模保育ならではの1対1の触れ合いもできて、子ども先生も楽しめたかなと思います。音楽遊びの楽しさを子ども達が味わう事ができたので、今後の保育でも取り入れていければいいなと思います。



☆7月「七夕」



今回、来園児さんの参加はなかったのですが、来園児さんの活動として七夕の会を行いました。来園児さんがいらつしやる場合は、一緒に自由遊びや七夕の歌を歌い、七夕の製作という流れで計画をしていました。(☆詳しい内容は第2項「行事紹介」*七夕の会*に掲載)

子育て中の方からは「コロナ禍で外に出るのが難しい」という声も聞かれます。園開放をしっかりとした上で開催していきたい、地域交流や周りの人と触れ合える機会にしていきたいです。

みらいく保育園

☆6月「リトミック」



6月はリトミック「どうぶつえんにいこう!」を行いました。最初にシール貼り製作で双眼鏡を作り、完成した双眼鏡を首にかけて準備万端!「動物を探しに行こう!」と、みんなで「さんぼ」の曲に合わせて保育室内を歩きました。ピアノの音楽に合わせて止まったり動いたり、とても上手でした。



音楽に合わせて体を動かした後、「動物園に着いたよ!」と双眼鏡を覗きながらみんなで動物を探しました。保育室にあらかじめ画用紙のカニ、ゴリラ、ヒヨコ、ワニが貼ってあり、探し出してすぐに2歳児さんから「いた!」と元気な声が上がりました。動物を発見したら、その動物らしいピアノの音に合わせて変身遊びを楽しみました。



ご来園くださったお子さんも内容を理解しながら、保護者の方と一緒に楽しんでいただけたかなと思います。園開放の後、園児さんのお散歩でも双眼鏡を持って遊んでくれて、遊びが広がっていったことが嬉しかったです。

☆7月「七夕」



今回、来園児さんの参加はなかったのですが、来園児さんが参加された場合も同じ内容をする予定でした。(☆詳しい内容は第2項「行事紹介」*七夕の会*に掲載)



せつかく保育園に来ていただくので、来園児さんにも在園児さんにも保育園らしい体験をしてみたいなと思います。今回の七夕製作では、先生の配置が十分だからこそ、ビー玉や絵の具を使うことができた。子ども達が楽しんでくれて、保護者の方からも「こういう製作があるんですね」と言っていたので、やってよかったなと思います。

PICK UP !!

みらいく小布施

『ドキュメンテーション』掲示

みらいく小布施では4月からクラス別「ドキュメンテーション」を各園舎の玄関に掲示しています。各クラスを代表して0歳児担任の先生にお話を伺いました。



●先生インタビュー
「ドキュメンテーション」は台紙に保育や行事の様子の写真をメインで貼り、コメントや説明を添えたものです。クラス別に掲示しており、大体月に1〜2回程の頻度で更新しています。

作成の際は、クラス全員の写真が載るようになっています。そして、なるべく子ども達が集中している様子や良い表情をしている写真を選ぶようにしています。園のおたよりでも保育の様子をお伝えしていますが、「ドキュメンテーション」を掲示したことで、内容や様子がより伝わりやすくなったと思います。掲示を見た保護者の方から声をかけていただくこともあります。



掲示をきっかけに、園での様子やお子さんの成長を感じていただいたり、おうちでの様子をお聞きしたり、保護者の方との会話が広がりました。園での様子が見えることで、保護者の方に安心していただけたら何よりだなと思います。

みらいく保育園

『おしらせボード』掲示

みらいく保育園では6月から園舎玄関に「おしらせボード」掲示しています。取り組みについて、発案者の先生にお話を伺いました。



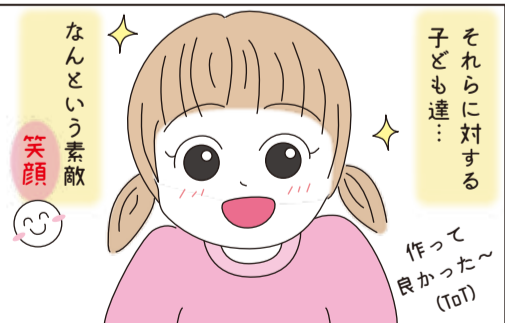
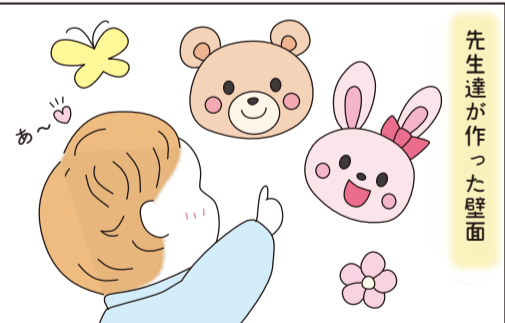
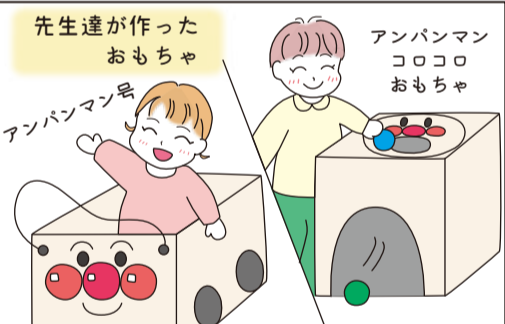
●先生インタビュー
現在も続くコロナ禍で、保護者の方には保育室に入ること控えていただいています。中々保育の様子が見えづらく、そこで、保育の様子やお子さんの成長を感じていただけるようにと思い、「おしらせボード」を導入しました。

「おしらせボード」は送迎時に見えるように園の玄関に掲示しています。内容は普段の活動や製作の様子、行事、食育の様子などです。写真がメインとなっており、説明やコメントの文章を添えています。

掲示内容を更新した日は、お迎えの際に「今日はこんなことをしましたよ」と一緒にボードを見ながらお伝えしています。そこから会話が生まれて、保護者の方とのコミュニケーションに繋がっています。保護者の方から「楽しそうですね」「うちの子の初めての製作なんですね」と言っていたり、嬉しくも嬉しいので、導入して良かったなと思います。

活動の原動力

作：みらいく県町職員



子ども達の笑顔が活動の原動力になっています